

全国農業図書お勧め図書一覧

2019年11月

- 1 新任農業委員、推進委員等向けテキスト・・・1
- 2 農業委員会事務局に常備しておきたい図書・・・5
- 3 農業者向け啓発資料（リーフレット等）・・・10
- 4 地域リーダー向け図書等・・・・・・・・・・13
- 5 農業経営者向け図書等・・・・・・・・・・14
- 6 農業者向け図書・・・・・・・・・・18
- 7 市町村等向け重点図書・・・・・・・・・・20
- 8 新規参入企業向け図書・・・・・・・・・・24
- 9 新規就農者向け図書・・・・・・・・・・28
- 10 農業高校生向け図書・・・・・・・・・・31
- 11 農の雇用事業関係書籍・・・・・・・・・・37

全国農業図書がお勧めする「農業委員・推進委員向けテキスト等」

令和元年 11 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10%税込・送料別)

1. 2019 年度 農業委員会業務必携 (31-10、1,490 円)

新しい制度・体制のもと、農業委員と農地利用最適化推進委員、農業委員会職員等の関係者が「農地利用の最適化」に向けた活動を効果的に実施するための情報として、農業委員会組織をめぐる情勢や識者からの期待の声、基本的な農業委員会の役割と業務、現場の農業委員会活動の事例などを収録しています。



2. 令和元年度版 農家相談の手引 (31-20、850 円)

～農地・経営対策に役立つ！ 支援制度の資料集～

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。

第1章、第2章では全国農業図書の農業者向けリーフレット等からエッセンスを凝縮、最新の情報をまとめました。人・農地プランの実質化、農地中間管理事業や農業者年金制度、収入保険制度等、幅広く情報を掲載しています。

第3章では、農水省の主な支援施策を抜粋しました。「〇〇がしたい」といったニーズ別に紹介しています。



3. 2020 年 農業委員会活動記録セット (31-27、530 円)

※11月発売、右の写真は 2019 年版

農業委員会活動記録セットは「農業委員会活動記録簿（農業委員、農地利用最適化推進委員）」と「相談カード」の2点セットです。

記録簿には、農業委員、農地利用最適化推進委員の日常活動（総会・部会等への出席や農地の権利移動や転用の現地確認のほか、遊休農地の解消や農地の利用集積、新規就農・参入の推進など「農地利用の最適化推進業務」、農家相談等）を簡潔に記録し、実績としてまとめることができます。



4. 2020 年 農業委員会手帳 (31-35、640 円)

※11月発売

見開き1週間、前年12月始まりのダイアリーには、農業委員会活動の予定と結果を記入できます。農業委員・農地利用最適化推進委員の身分証明書付きですので、農地法に基づく立入調査など農業委員会活動の際の“身分証明”としてご活用いただけます。

付録資料には、最新の農業委員会関連法制度の改正と「農地利用最適化」の取り組みを新たに加え、委員会制度の概要、農地法3・4・5条の許可基準や基盤法の利用権設定の要件、遊休農地対策、農振法・特定農地貸付法の概要をコンパクトに掲載し、最新の農業統計や関係機関の連絡先も載っています。農業委員・推進委員をはじめ農業委員会活動に必携の手帳です。



5. 農業委員会研修テキストシリーズ

研修教材として、総会・部会等における参考資料として、幅広く活用できる内容です。

①農業委員会制度－農地利用の最適化の推進－（30-21、366 円）

新たな農業委員会制度の概要と農業委員・農地利用最適化推進委員・農業委員会の業務についてわかりやすく説明したテキストです。研修教材や総会・部会等での参考資料として農業委員会関係者にぜひご活用いただきたい1冊です。



②農地法（30-19、479 円）

農地制度の概要、農地法にもとづく農業委員会・農業委員等の業務についてわかりやすく説明したテキストです。研修教材として、総会・部会等での参考資料として幅広く活用できる内容です。平成30年「農業経営基盤強化促進法等の一部改正」等を反映した最新版です。



③農地関連法制度（28-16、314 円）

農地法に関連する基盤法、中間管理法、農振法を中心に、特定農地貸付法や、市民農園整備促進法、土地改良法などについて、その基本的な仕組みとともに、農業委員会の役割についてわかりやすく解説しました。農業委員等を対象とした研修会等でご活用ください。



6. 農業委員・推進委員活動マニュアル

－農地利用の最適化を推進するために－（28-25、612 円）

平成28年4月1日より、新たな農業委員会制度が施行され、「農地利用の最適化」が、すべての農業委員会で「必須事務」ととなりました。農地等の利用の最適化とは、①担い手への農地利用の集積・集約化、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進であり、その成果をあげるには農業委員と推進委員が密接に連携し、“二人三脚”で取り組むことが重要です。本マニュアルは、農地等の利用の最適化の推進活動の進め方を整理し、必要な農地制度等の基礎知識を網羅するなど、農業委員と推進委員にとってわかりやすく解説しました。



7. 地域農業の将来を考えてみませんか！

～進めよう！人・農地プランの実質化～（31-05、100 円）

「人・農地プランとは何か」から、地域の関係機関が一体となって取り組むべき「意向把握」や「話し合い活動」などの『人・農地プラン実質化』のための流れを5つのステップに分けてわかりやすく説明しています。地域の研修会や説明会の場はもとより、地域の関係する皆さんに、広くお読みいただきたいリーフレットです。



8. 農地中間管理事業が新しくなりました

～人・農地プランの実質化や支援施策の解説～ (31-15、120 円)

新しくなった農地中間管理事業を分かりやすく説明したパンフレットです。農地の集積・集約化を今まで以上に進めるため、さまざまな点が見直されています。研修会や説明会の際はもとより、地域の皆さん、そして人・農地プランの話し合いや農地中間管理事業の推進に取り組む関係者の皆さんに広くお読みいただきたいパンフレット。



9. 農地中間管理事業を活用しましょう (29-29、20 円)

農地中間管理事業の活用と人・農地プランの話し合いを呼びかける2ページの簡潔なリーフレットです。DVD (コード 29-33) の「パート3」は本リーフレットを用いた説明動画となっており、あわせてご活用いただけます。



10. 農業者の老後に備える 農業者年金制度と加入推進 (31-04、509 円)

農業者年金基金主催の研修会の教材としても活用される加入推進の公式テキストです。現場で加入推進に携わる皆様の必携テキストとするため、農業者年金基金とJA全中、全国農業会議所をメンバーとした「農業者年金加入推進テキスト編集委員会」が執筆しました。「農業者年金の必要性を伝えること」、「農業者年金の魅力伝えること」からはじまり、制度のあらましをわかりやすく解説しています。



11. 農地パトロールと利用意向調査で進める

遊休農地解消と担い手への農地集積 (30-34、45 円)

農地パトロールから農地所有者等への意向調査、農地中間管理機構との協議勧告など、遊休農地の解消と担い手への農地集積に向けた農業委員会の活動を、簡潔にA4で4ページのリーフレットにまとめました。2018年11月に施行された「所有者等が分からない場合の対応」についても記述しています。



12. 農業用ハウスの底面を全面コンクリート張りした場合の取り扱いが見直されました (30-30、75 円)

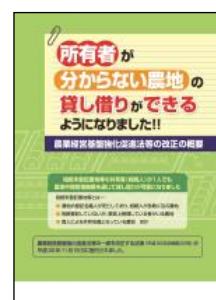
農業用ハウスなど、コンクリート等で地固めをして耕作をできない土地は農地に該当せず、農地転用の許可が必要でしたが、その取り扱いが見直され、あらかじめ農業委員会に届け出れば、転用許可が不要となる仕組みが設けられました。届出の様式例も掲載して、理解しやすいように整理したリーフレットです。



13. 所有者が分からない農地の貸し借りができるようになりました!!

—農業経営基盤強化促進法等の改正の概要— (30-26、75 円、6 頁)

相続未登記など所有者の一部や全部が分からない農地を、簡易な手続きで、農地中間管理機構を通じて貸し付けることができる仕組みが新設されました。「基盤法」に基づく、その仕組みの概要と手続き、農業委員会による所有者の探索方法と同意取得の対応をコンパクトに分かりやすく解説しました。また、所有者が誰も分からない場合など、『農地法』に基づく貸し借りの簡素化された手続きについても掲載。



14. 今こそ農業委員会に女性の力を！（31-16、75 円）

農業委員会への女性の参画を促すリーフレットです。農委制度の改正後も、農業委員会活動への女性参画をさらに進める必要があります。女性委員の登用と社会参画に力を入れる宮城県大崎市や女性農業者の相談を女性委員が親身になって受ける愛知県豊橋市、広島県の2市1町合同で行われる勉強会を紹介。全国段階や岩手県の活動や、女性農業者の参画を促す国の施策も盛り込みました。現職の農業委員・農地利用最適化推進委員はもちろん、地域での話し合いや女性委員候補者への働きかけなどに幅広くご活用ください。



15. 農業委員会はこんな活動をしています

～がんばっています！農業委員・推進委員～（31-24、45 円）

「地域農業の振興」や「農地法等の農地行政の執行」、「農業の担い手支援」等に取り組んでいる農業委員会／農業委員・農地利用最適化推進委員の基本的な役割や主な活動について、イラスト入りでわかりやすく示したリーフレットです。地域の方々への農業委員会活動の紹介や、農業委員・推進委員の推薦・公募の際の周知に最適です。

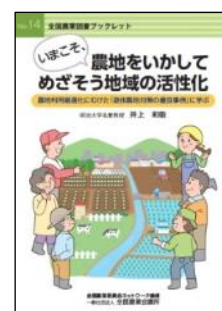
農業委員・推進委員の研修資料などにも活用いただけます。



16. 《全国農業図書ブックレット14》

いまこそ、農地をいかして めざそう地域の活性化（30-25、739 円）

平成20年度から10回に渡り実施された「耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業」の受賞組織の活動を整理・分析し、模範となる優良事例から学ぶべき遊休農地対策のポイントをまとめました。耕作放棄地の現状、遊休農地対策の枠組みなど基本的な事項もわかりやすく解説しています。



17. 全国農業図書ブックレット13

未来の担い手を確保するために ―現場で活躍するリーダーへの提言―（30-16、407 円）

「農地をどうやって守るのか、地域農業の将来をどう描くのか」―農業委員・農地利用最適化推進委員など地域リーダーによる「未来の担い手を確保するための話し合い」に役立つ話題提供のための一冊です。農村の現場が抱える様々な課題の解決をめざして活動する地域リーダーのために、人・農地プランの話し合いを前に進めるヒントや、農地利用の最適化に向けた地域の合意形成に役立つ提言を平易に解説しました。著者は香川文庸氏（龍谷大学農学部教授）。



全国農業図書がお勧めする「農業委員会事務局に常備しておきたい図書」

令和元年 11 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10%税込・送料別)

1. 農業委員会、すべての支所に必置のマニュアル

農業委員会業務推進マニュアル 改訂 7 版 (30-03、7,334 円)

“農業委員会業務のバイブル”ともいわれる本書。平成 27 年の農業委員会法の抜本改正等を踏まえて、最新制度に対応した改訂を行いました。各種業務に関わる法律事項の解説、関係様式、業務フローを 1 冊にまとめました。様式を収録した CD-ROM 付き。すべての農業委員会、すべての支所に必置のマニュアルです！(平成 29 年 3 月刊行の 6 版の改訂版)。



2. 農業委員会法関係

農業委員会法の解説 改訂 9 版 (28-12、3,055 円)

農業委員会法の逐条解説です。農委法の改正に伴い、農業委員会ネットワーク機構を含む農業委員会組織と制度、農業委員と農地利用最適化推進委員の役割・連携、農業委員会業務の重点化等を反映。農地中間管理事業法制定など平成 25 年以降の農委法改正の経緯を追加し、従来の通知も資料篇として掲載しています。



3. 農地法関係

農家のための 新 農地全書 第 7 版 (28-30、2,343 円)

農地にまつわる相談は、売買、貸借や転用、相続・贈与など多岐に渡ります。こうした相談に対応するには、農地法や中間管理事業法、基盤法、農振法だけでなく、民法、都市計画法、国土法など様々な制度に関する知識が必要です。これら農地に関する相談を問答形式でまとめた「農地全書」は、昭和 47 年以来のロングセラーです。第 7 版では、平成 27 年の農地制度改正を踏まえた改訂を行っています。



農地法の解説 改訂 2 版 (28-31、3,209 円)

法律の条文ごとに、政令、省令、事務処理基準、運用通知、事務処理要領などの基本的な通知だけでなく、過去の通達や照会への回答、判例等も引用し、順序立てて農地法の全体像を基礎から詳細までわかりやすく説明した解説書です。「法令や通達集だけでなく、より親切で詳しい本が欲しい」という切実なニーズにお応えしました。農地法を深く理解するための一冊です。



新・農地の法律がよくわかる百問百答 改訂 2 版 (28-32、2,343 円)

農地法、基盤法、農地中間管理法、特定農地貸付法、市民農園整備促進法といった農地に関わる法律制度ごとに、わかりやすく解説しています。今回の改訂では、平成 27 年の農地法、農委法等の改正を踏まえるなど最新の制度に対応したほか、遊休農地に対する固定資産税の課税強化や、農地中間管理事業のメリット、農地中間管理機構に関する利用者の目線での新たな設問の回答も盛り込みました。



新・よくわかる農地の法律手続き－関係判例付－ 改訂3版 (28-29、2,138 円)

好評いただいた本書を平成 27 年の農地制度改正に対応するとともに、全体を再整理して改訂しました。農地の法律手続きの中で、頻度の高い農地の売買・貸借、農地以外への転用、市民農園の開設等について、「これだけは知っておきたい」ことを、手続きの流れ図、申請書の記載例、判例等をまじえて解説しています。農業委員会事務局はもとより、農業委員・農地利用最適化推進委員、農業者の皆さんにも活用いただける一冊です。



農地転用許可制度の手引 改訂6版 (28-21、988 円)

農地転用許可制度のしくみ、許可の基準や手続きなど制度全体をわかりやすく解説した手引書です。巻末に、転用に関する通知、農地法・政令・省令の3段表を掲載しています。第5次地方分権一括法による4ha超の農地転用の国から都道府県への権限移譲や指定市町村制度の創設など、改正点を反映しています。



農地転用許可制度マニュアル 改訂2版 (28-22、540 円)

農地転用許可制度について簡潔に示したマニュアルです。農地転用申請者への説明などにご活用ください。第5次地方分権一括法による農地転用の権限移譲、指定市町村制度の創設など、平成28年4月に施行された農地制度改正を反映しています。



新・農地の法律早わかり！ 改訂4版 (28-24、846 円)

改正農地法等に対応。農業生産法人から農地所有適格法人への名称変更と要件緩和、第5次地方分権一括法による4ha超の農地転用の権限移譲や指定市町村制度の創設など、農地制度改正の内容を反映し、農地面積や権利移動件数なども最新データに更新しました。



農地転用許可制度のあらまし 改訂版 (28-23、90 円)

農地転用許可制度のしくみ、許可の基準、手続き等を紹介した、農業委員・農地利用最適化推進委員や集落リーダー等の研修会資料などに最適なリーフレットです。第5次地方分権一括法による権限移譲、指定市町村制度の創設など、農地制度改正の内容を反映しました。



農業用ハウスの底面を全面コンクリート張りした場合の取り扱いが見直されました (30-30、75 円)

農業用ハウスなど、コンクリート等で地固めをして耕作をできない土地は農地に該当せず、農地転用の許可が必要でしたが、その取り扱いが見直され、あらかじめ農業委員会に届け出れば、転用許可が不要となる仕組みが設けられました。届出の様式例も掲載して、理解しやすいように整理したリーフレットです。



地域農業の将来を考えてみませんか！

～進めよう！人・農地プランの実質化～ (31-05、100 円)

「人・農地プランとは何か」から、地域の関係機関が一体となって取り組むべき「意向把握」や「話し合い活動」などの『人・農地プラン実質化』のための流れを5つのステップに分けてわかりやすく説明しています。地域の研修会や説明会の場はもとより、地域の関係する皆さんに、広くお読みいただきたいリーフレットです。



農地中間管理事業が新しくなりました

～人・農地プランの実質化や支援施策の解説～ (31-15、120 円)

新しくなった農地中間管理事業を分かりやすく説明したパンフレットです。農地の集積・集約化を今まで以上に進めるため、さまざまな点が見直されています。研修会や説明会の場はもとより、地域の皆さん、そして人・農地プランの話し合いや農地中間管理事業の推進に取り組む関係者の皆さんに広くお読みいただきたいパンフレット。



農地中間管理事業を活用しましょう (29-29、20 円)

農地中間管理事業の活用と人・農地プランの話し合いを呼びかける2ページの簡潔なリーフレットです。DVD (コード 29-33) の「パート3」は本リーフレットを用いた説明動画となっており、あわせてご利用いただけます。



【DVD】人・農地プランの話し合いで進める農地利用の最適化

—千葉県香取市の活動に学ぶ— (29-33、2,200 円)

千葉県香取市では、農業委員会が農政課など関係機関・団体と連携しつつ、集落段階での人・農地プランの話し合いを推進し、集落営農の組織化・法人化に取り組むとともに、農地中間管理事業を積極的に活用した農地利用の集積・集約化を実現しています。

本DVDは、同市におけるアンケート調査の実施、集落での話し合いなど、委員や事務局など関係者の取り組みと生の声を伝えるもので、地域活動の参考としていただける内容になっています。



農業経営を法人化しませんか？ (30-36、75 円)

家族経営の法人化や集落営農の法人化の意義にはじまり、会社法人と農事組合法人の違いを比較表で明らかにしました。農地所有適格法人の4つの要件を解説しつつ、解除条件付き貸借による一般法人の農業参入の要件も簡潔に示しています。法人設立の手順も図示。信用力の向上や人材確保、販路拡大、税制特例など法人化のメリットと義務負担についても解説しました。農地所有適格法人制度と農業経営の法人化の概要を、この1枚で説明できるリーフです。



Q & A 農業法人化マニュアル 第4版 (28-19、897 円)

法人化のメリット、法人の設立の仕方、法人化にともなう負担などの疑問に答え、法人化するかどうか、法人設立の方法などを一問一答形式でわかりやすく解説しました。

また、家族経営や数戸による法人化、集落営農を法人化する際の留意点をはじめ、法人化の相談窓口での“指導マニュアル”としても活用できる一冊です。



企業の農業参入の手引 (26-41、713 円)

農地の有効利用を進め、地域の担い手を確保するためには、地域の実情に応じて、企業などの新たな担い手を“農業のパートナー”として積極的に迎え入れ、経営体として支援する取り組みが重要です。この手引は、農業参入に関心を持つ企業等の皆さんに、農業に関する基礎的な知識と、農業参入の流れや方針、事業計画作成のポイント、参入後の留意点等についてわかりやすく解説しています。

農業参入に関心を寄せる相談者を適切に導き、担い手として育成するため、農業委員会の委員や職員だけでなく、農業関係機関や団体の皆さんにも広く活用いただきたい1冊です。



農業振興地域制度のあらまし

～優良農地の確保と有効利用を目指して～ (29-37、90 円)

平成28年に刊行したリーフレットの統計数値等を更新しました。農業振興地域制度は国、都道府県、市町村が連携して優良農地を守り、農地の有効利用を図るためのしくみです。基本はもとより、「農業振興地域整備計画」、「農用地区域」の変更手続きも説明しています。



4. 経営基盤強化法関係

農業経営基盤強化促進法の解説 改訂6版 (28-52、3,666 円)

認定農業者など担い手の育成と農地集積等の支援を目的とする基盤法について、条文の解説と改正経過を掲載しています。平成27年の「農業協同組合法等の一部を改正する等の法律」による農地法改正を受けて、農業生産法人から農地所有適格法人への名称変更と要件緩和を盛り込んだほか、農業委員会等に関する法律の改正等を踏まえて加筆修正しました。平成28年12月の省令改正にも対応しています。



農業経営基盤強化促進法一問一答集 改訂2版 (28-53、2,343 円)

好評の「農業経営基盤強化促進法一問一答集」に認定新規就農者制度など最新の制度内容を盛り込んで改訂2版としてお届けします。農業経営基盤強化促進法を現場で実際に運用する上で疑問にぶつかった時の手引きとなるよう、一問一答形式でわかりやすく解説しました。

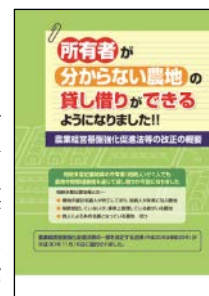
地域で農業の振興に携わる市町村や都道府県の担当者、関係機関・団体の関係者など多くの皆様にご活用いただける一冊です。



所有者が分からない農地の貸し借りができるようになりました!!

—農業経営基盤強化促進法等の改正の概要— (30-26、75 円、6 頁)

相続未登記など所有者の一部や全部が分からない農地を、簡易な手続きで農地中間管理機構を通じて貸し付けることができる仕組みが新設されました。「基盤法」に基づく、その仕組みの概要と手続き、農業委員会による所有者の探索方法と同意取得の対応をコンパクトに解説しました。また、所有者が誰も分からない場合など、『農地法』に基づく貸し借りの簡素化された手続きについても掲載しています。



5. 税制関係

令和元年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制 (31-19、1,140 円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。

第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問にていねいに答えています。



一問一答集 新訂版 農家の所得税 (27-29、2,954 円)

所得税に関する計算のしくみや手続きのうち、農家に関係の深いものを問答方式で解説しました。農業経営の中で関係する疑問について取り上げ、設問や配列にあたっては所得税の全容の理解に役立つように配慮しました。

マイナンバー（社会保障・税番号制度）のほか、農業経営以外についても、住宅取得等資金や教育資金の贈与、NISA（少額投資非課税制度）も盛り込みました。



納税猶予と仲良くつきあう方法 農家のための相続対策 (27-24、1,222 円)

相続を円滑に行うためには、事前の対策が重要です。1つは相続税（額と納税のための資金の手当て）であり、2つめは相続人が抱く不満や不公平感の解消です。従来の「相続税納税猶予制度ガイドブック」を改訂し、平成21年の農地法改正による相続税納税猶予制度の見直や27年からの課税強化にも対応して、さらに役立つ内容にしました。



全国農業図書がお勧めする「農業者向け啓発資料（リーフレット等）」

令和元年 1 1 月

(一社) 全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10 % 税込・送料別)

農地中間管理事業が新しくなりました

～人・農地プランの実質化や支援施策の解説～ (31-15、120 円)

新しくなった農地中間管理事業を分かりやすく説明したパンフレットです。農地の集積・集約化を今まで以上に進めるため、さまざまな点が見直されています。研修会や説明会の場はもとより、地域の皆さん、そして人・農地プランの話し合いや農地中間管理事業の推進に取り組む関係者の皆さんに広くお読みいただきたいパンフレット。



農地中間管理事業を活用しましょう (29-29、20 円、2 頁)

農地中間管理事業の活用と人・農地プランの話し合いを呼びかける簡潔なリーフレットです。DVD (コード 29-33) の「パート 3」は本リーフレットを用いた説明動画となっており、あわせてご活用いただけます。



地域農業の将来を考えてみませんか！

～進めよう！人・農地プランの実質化～ (31-05、100 円)

「人・農地プランとは何か」から、地域の関係機関が一体となって取り組むべき「意向把握」や「話し合い活動」などの『人・農地プラン実質化』のための流れを 5 つのステップに分けてわかりやすく説明しています。地域の研修会や説明会の場はもとより、地域の関係する皆さんに、広くお読みいただきたいリーフレットです。



農業者年金で老後の生活を安心サポート (30-24、20 円、2 頁)

農業者年金への加入の必要性和制度のメリットを伝えるリーフレットです。「あなたの老後生活への備えは十分ですか」—20 年を超える老後生活をふまえて、国民年金に上乗せした年金の必要性和あわせて、年金は家族一人ひとりについて準備することが大切と、夫婦をはじめ家族で年金を受け取ることの重要性も理解できます。1 頁では、気になる保険料負担に対して社会保険料控除のメリットが活用できるなど、農業者年金の 5 つの特徴をしっかりと説明しています。



戸別訪問など農業者年金の加入推進活動や、制度周知のための研修会に役立つ農業者向けのアイテムです。

2019 度版 農業者年金 加入推進用リーフレット (31-06、45 円、4 頁)

農業者年金の加入推進用リーフレット。少子高齢時代に強い年金であり、保険料額は自由に決められること、終身年金で 80 歳までの保証付き、公的年金ならではの税制の優遇措置、担い手への保険料補助等のメリットをわかりやすく説明し、年金額の試算表も掲載しています。「こんな良い制度、どうして教えてくれなかったの？」と言われたいよう、対象者への説明資料としてご活用ください。



2019 年度版 農業者年金 加入推進用リーフレット (31-07、90 円、8 頁)

「2019 年度版 農業者年金 加入推進用リーフレット」(31-06)の内容に、老後生活の現状など国民年金の上乗せ年金が必要な理由を追加した充実版です。



人生 100 年時代 農業者年金で安心の備えを！10 話 (30-22、160 円、12 頁)

農業者年金の良さをファイナンシャル・プランナーの立場から、10 話にわけてやさしく解説しました。農業者が読んで「なるほど納得！」という、気軽に読める 12 ページの小冊子です。家族の皆さんに読んでもらえると、「加入しよう！」という気にさせること間違いなしです。

研修会はもちろん、加入推進の戸別訪問で農家に配布する資料として最適です。

農業者の方々に加入を勧める農業委員・農地利用最適化推進委員、JA 関係者、加入推進部長の方々にも、ぜひ読んでいただきたいパンフレットです。



改訂 2 版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか (31-23、90 円、8 頁)

相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説、相続時精算課税制度も収録しています。31 年の税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版の農業者向けリーフです。



農地パトロールと利用意向調査で進める遊休農地解消と担い手への農地集積 (30-34、45 円、4 頁)

農地パトロールから農地所有者等への意向調査、農地中間管理機構との協議勧告など、遊休農地の解消と担い手への農地集積に向けた農業委員会の活動を、簡潔にリーフレットにまとめました。

農業委員会の総会・部会での打ち合わせ、農業委員・農地利用最適化推進委員の研修会に、さらに農家への啓発活動等にご活用いただけます。



ストップ！ 遊休農地-遊休農地の発生防止・解消を進めよう！- (31-30、75 円、6 頁)

農地所有者向けには、利用意向調査、勧告、農地中間管理権の設定など法的措置について説明。所有者不明や共有農地の権利設定についてもわかりやすく解説。遊休農地を再生・利用する担い手向けに、耕作放棄地の再生利用交付金のほか、農地の保全活動のための中山間地域等直接支払や多面的機能支払なども紹介。遊休農地所有者への意向確認、集落座談会等での啓発資料、農業委員・農地利用最適化推進委員、集落リーダーへの研修会資料等にご活用ください。



農業用ハウスの底面を全面コンクリート張りした場合の取り扱いが見直されました (30-30、75 円、6 頁)

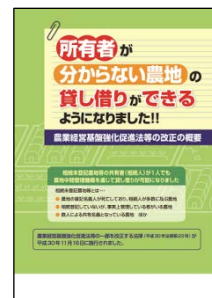
農業用ハウスなど、コンクリート等で地固めをして耕作をできない土地は農地に該当せず、農地転用の許可が必要でしたが、その取り扱いが見直され、あらかじめ農業委員会に届け出れば、転用許可が不要となる仕組みが設けられました。届出の様式例も掲載して、理解しやすいように整理したリーフレットです。



所有者が分からない農地の貸し借りができるようになりました!!

一農業経営基盤強化促進法等の改正の概要— (30-26、75 円、6 頁)

相続未登記など所有者の一部や全部が分からない農地を、簡易な手続きで、農地中間管理機構を通じて貸し付けることができる仕組みが新設されました。「基盤法」に基づく、その仕組みの概要と手続き、農業委員会による所有者の探索方法と同意取得の対応をコンパクトに解説しました。また、所有者が誰も分からない場合など、『農地法』に基づく貸し借りの簡素化された手続きについても掲載しています。



農地を転用するときは農地法の許可が必要です (31-29、45 円、4 頁)

農地転用には許可が必要です。許可の基準や手続き、違反転用への罰則などをわかりやすく説明しています。農地転用の申請者に示して説明したり、違反転用者への指導にあたって配布（特に罰則のところを示して）するなどしてご活用ください。



今こそ農業委員会に女性の力を! (31-16、75 円、6 頁)

農業委員会への女性の参画を促すリーフレットです。農委制度改正後も、農業委員会活動への女性参画をさらに進める必要があります。参考事例として女性委員の登用と社会参画に力を入れる宮城県大崎市や女性農業者の相談を女性委員が親身になって受ける愛知県豊橋市、広島県の2市1町合同で行われる勉強会等を紹介。現職の農業委員・推進委員はもちろん、地域での話し合いや候補者への働きかけなどに幅広くご活用ください。



平成31年度 経営所得安定対策と米政策 (30-28、107 円、16 頁)

※令和2年度版は令和2年1月中旬刊行予定 (10%税込 110 円)

平成30年産米から「新たな米政策」が始まり、農業者（産地）の主体的な判断による、需要に応じた生産・販売が行われています。その初年の平成30年産の作付面積は、主食用米が増え、備蓄米と飼料用米が減少したこと等から、31年産については「人口減を反映した厳しい需給見通し」や「備蓄米買入の運用改善」をはじめ、TPP11発効を考慮した「麦・てん菜のゲタ対策交付金の単価改定」が実施されます。農業経営の安定を図るには、経営所得安定対策のゲタ・ナラシ対策、水田フル活用対策、収入保険制度などの仕組みとメリットを周知し、加入推進することが重要です。本パンフレットは、これら制度についての普及啓発資料として幅広く活用できます。



全国農業図書がお勧めする「地域リーダー向け図書等」

令和元年 11 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10%税込・送料別)

1. 令和元年度版 農家相談の手引 (31-20、850 円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。

第 1 章、第 2 章では全国農業図書の農業者向けリーフレット等からエッセンスを凝縮、最新の情報をまとめました。人・農地プランの実質化、農地中間管理事業や農業者年金制度、収入保険制度等、幅広く情報を掲載しています。

第 3 章では、農水省の主な支援施策を抜粋しました。「〇〇がしたい」といったニーズ別に紹介しています。



2. 農業者の老後に備える 農業者年金制度と加入推進 (31-04、509 円)

農業者年金基金主催の研修会の教材としても活用される加入推進の公式テキストです。現場で加入推進に携わる皆様の必携テキストとするため、農業者年金基金と J A 全中、全国農業会議所をメンバーとした「農業者年金加入推進テキスト編集委員会」が執筆しました。「農業者年金の必要性を伝えること」、「農業者年金の魅力を伝えること」から始まり、制度のあらましをわかりやすく説明しています。



3. 平成 31 年度 経営所得安定対策と米政策 (31-28、107 円)

※令和 2 年度版は令和 2 年 1 月中旬刊行予定 (10%税込 110 円)

平成 30 年産米から「新たな米政策」が始まり、農業者（産地）の主體的な判断による、需要に応じた生産・販売が行われています。その初年の平成 30 年産の作付面積は、主食用米が増え、備蓄米と飼料用米が減少したこと等から、31 年産については「人口減を反映した厳しい需給見通し」や「備蓄米買入の運用改善」をはじめ、T P P11 発効を考慮した「麦・てん菜のゲタ対策交付金の単価改定」が実施されます。農業経営の安定を図るには、経営所得安定対策のゲタ・ナラシ対策、水田フル活用対策、収入保険制度などの仕組みとメリットを周知し、加入推進することが重要です。本パンフレットは、これら制度についての普及啓発資料として幅広く活用できます。



4. 《全国農業図書ブックレット 14》

いまこそ、農地をいかして めざそう地域の活性化 (30-25、739 円)

本書は、平成 20 年度から 10 回に渡り実施された「耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業」の受賞組織の活動を整理・分析し、模範となる優良事例から学ぶべき遊休農地対策のポイントをまとめました。耕作放棄地の現状、遊休農地対策の枠組みなど基本的な事項もわかりやすく解説しています。



全国農業図書がお勧めする「農業経営者向け図書等」

令和元年 11 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10%税込・送料別)

1. 平成 31 年度 経営所得安定対策と米政策 (30-28、107 円)

※令和 2 年度版は令和 2 年 1 月中旬刊行予定 (10%税込 110 円)

平成 30 年産米から「新たな米政策」が始まり、農業者(産地)の主体的な判断による、需要に応じた生産・販売が行われています。

その初年の 30 年産の作付面積は、主食用米が増え、備蓄米と飼料用米が減少したこと等から、31 年産については、「人口減を反映した厳しい需給見通し」や「備蓄米買入の運用改善」をはじめ、TPP11 発効を考慮した「麦・てん菜のゲタ対策交付金の単価改定」が実施されます。

農業経営の安定を図るには、経営所得安定対策のゲタ・ナラシ対策、水田フル活用対策、収入保険制度などの仕組みとメリットを周知し、加入推進することが重要です。本パンフレットは、これら制度についての普及啓発資料として幅広く活用できます。



2. 簿記

①改訂 8 版 はじめてのパソコン農業簿記

ソリマチ(株)「農業簿記 11」体験版 CD-ROM 付 (31-36、3,000 円)

ソリマチ(株)の農業簿記ソフト「農業簿記 11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。



②2019 年版 青色申告から経営改善につなぐ

勘定科目別農業簿記マニュアル (31-37、2,160 円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理しており、「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書として、研修会のテキストとして適しています。また、最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。2019 年 10 月から導入された消費税の軽減税率の取扱いについても記載。執筆者は税理士の森剛一氏。



③「わかる」から「できる」へ 複式農業簿記実践テキスト (29-11、1,681 円)

簿記の学習のヤマ場といわれる「仕訳」については、多くの仕訳例を掲載。実際の簿記相談に裏打ちされた仕訳例は読者の手元で即戦力となります。記帳のイロハから実務まで網羅した手引書として、初心者や実務経験者の心強い味方になる一冊です。



④記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳 (27-23、418 円)

都道府県農業会議の簿記指導のノウハウを集積し、複式農業簿記実践テキストの姉妹書として作成。問題と回答を本冊に収録し、記述できる回答は別冊とし、切り離して利用できるようになっています。



3. 税務

1) 書籍

①令和元年度版 よくわかる農家の青色申告 (31-21、830 円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の「入門書」です。令和元年度版は、消費税 10%への引き上げと軽減税率や最新の記入例を掲載。あわせて「農業者（個人）の令和元年度所得税の改正のあらまし」も載せています。



②令和元年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制 (31-19、1,140 円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問にていねいに答えています。



③一問一答集 新訂版 農家の所得税 (27-29、2,954 円)

本書は、所得税に関する計算の仕組みや手続などのうち、農家に関係の深いものについて説明したもので、理解しやすくするために問答式としています。日常の農業経営の中で関係すると思われる疑問について網羅的に取り上げ、設問や配列にあたっては所得税の全容の理解に役立つように配慮してあります。7年ぶりの改訂にあたり、この間の税制改正を反映。マイナンバー（社会保障・税番号制度）のほか、農業経営以外の部分についても、住宅取得等資金や教育資金の贈与、NISA（少額投資非課税制度）なども新たに盛り込みました。



④改訂2版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか (31-23、90 円、8 頁)

相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説、相続時精算課税制度も収録しています。31年の税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版の農業者向けリーフです。



4. 家族経営協定、年金、認定農業者、農業法人化

①「家族経営協定」で新しい時代をひらく（26-15、160 円）

家族一人一人の立場や働き方を明確化し、確かな経営計画や生活設計を樹立し、家族全体や個々人の夢を実現するのが「家族経営協定」です。農業経営や暮らしの現状確認を出発点に、世代や男女を問わず対等な立場で話し合うためのポイントや制度上のメリットを、東京農業大学の五條満義准教授が先進事例も含め農家向けに書き下ろしたパンフレットです。



②2019 年度版 農業者年金 加入推進用リーフレット（31-07、90 円）

少子高齢時代を先取りした農業者年金制度の魅力やメリット、政策支援を受ける要件などを紹介した、加入推進用の農業者向けのリーフレットです。



③人生 100 年時代 農業者年金で安心の備えを！10 話（30-22、160 円、12 頁）

農業者年金の良さをファイナンシャル・プランナーの立場から、10 話にわけてやさしく解説しました。農業者が読んで「なるほど納得！」という、気軽に読める 12 ページの小冊子です。



④2018 年度版 地域農業の担い手 「認定農業者」（30-17、75 円）

※2019 年版は 11 月刊行予定

認定農業者制度の概要やメリットを伝え、認定農業者になることを勧めるリーフレットです。認定農業者になるための要件や、なった場合の主な支援措置、「全国優良経営体表彰」の優れた経営事例等を紹介しています。



⑤農業経営を法人化しませんか？（30-36、75 円）

家族経営の法人化や集落営農の法人化の意義に始まり、会社法人と農事組合法人の違いを比較表で明らかにしました。農地所有適格法人の 4 つの要件を解説しつつ、解除条件付き貸借による一般法人の農業参入の要件も簡潔に示しています。法人設立の手順も図示。信用力の向上や人材確保、販路拡大、税制特例など法人化のメリットと義務負担についても解説しています。農地所有適格法人制度と農業経営の法人化の概要を 1 枚で説明できるリーフです。



⑥Q & A 農業法人化マニュアル 第 4 版（28-19、897 円）

法人化のメリット、法人の設立の仕方、法人化にともなう負担などの疑問に答え、法人化するかどうか、法人設立の方法などを一問一答形式でわかりやすく解説しています。



5. 新世代の農業挑戦—優良経営事例に学ぶ— 叶 芳和 著 (26-14、1,121 円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取組を紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



6. 新・日本農業の実際知識 羽田 實/折原 直 改訂共著

(28-42、1,019 円)

初版から 12 年。新たなデータを追加・更新して「日本農業の本当の姿」を解説しています。マスコミによる日本農業に対する多くの誤解や経済界・農業界の疑問に対して明快に回答。TPP 問題にも言及しています。



7. 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20、837 円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第 1 章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



8. 多視点型農業マーケティング 平岡 豊 著 (26-30、950 円)

農業マーケティングの先駆者である平岡豊氏が「実践型農業マーケティング」の続編として著した最新刊。日本農業はこれまで「単視点的」発想での施策が多かったのではないかと問いかけ、新たな視点で現状を見直し、打開策を見い出すよう意識改革を促します。全国農業新聞への連載「マーケティング・アイ」から選りすぐりのコラム 77 件を掲載。



全国農業図書がお勧めする「農業者向け図書」

令和元年 11 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10% 税込・送料別)

1. 「STOP 鳥獣害」 シリーズ

① STOP! 鳥獣害～地域で取り組む対策のヒント～ (27-34、1,000 円)

第一章では岐阜大学応用生物科学部の鈴木正嗣教授が、鳥獣による農作物被害の状況はどう変わったのか総括。今後の 10 年を展望します。第二章は鳥獣の種類別に対策をまとめました。シカ、イノシシ、サル等 11 種について、第一人者が被害対策を解説しています。第三章では全国農業新聞で連載中の「ストップ鳥獣害」から、16 の取組を紹介しました。



② 〈事例集〉鳥獣害対策最前線【鳥獣種別対策編】(31-25、1,500 円)

全国農業新聞で連載中の「STOP 鳥獣害」シリーズの記事を中心に現場の取り組みを紹介した事例集です。イノシシ、シカ、サルを中心に、ハクビシン、アライグマなど中型獣への対策、カラスなどの鳥害対策を取り上げています。94 事例収録。



③ 〈事例集〉鳥獣害対策最前線【ジビエ・2次利用編】(31-26、800 円)

全国農業新聞で連載中の「STOP 鳥獣害」シリーズの記事を中心に現場の取り組みを紹介した事例集です。イノシシ、シカ、サルを中心に、ハクビシン、アライグマなど中型獣への対策、カラスなどの鳥害対策を取り上げています。94 事例収録。



※②と③をセットで購入すると、2,300 円→**2,000 円**へ値引き。

2. 病虫害・雑草フィールドブック

主要な病虫害・雑草をカラー写真とともに簡便に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

① 水稻編 (17-04、1,048 円)

病害 16 種、害虫 23 種、雑草 39 種を収録。

② 野菜編 (17-05、1,048 円)

病害 94 種、害虫 33 種、雑草 26 種を収録。

③ 柑橘編 (17-57、1,048 円)

病害 19 種、害虫 31 種、雑草 28 種を収録。

④ 果樹編 (18-01、1,048 円)

病害 43 種、害虫 33 種、雑草 22 種を収録。



3. だれでも楽しめる！簡単野菜づくり (25-29、1,257 円)

野菜づくりの入門書が遂に登場。野菜づくりの基本とも言える土づくり、肥料の施用方法のイロハから、野菜ごとの栽培方法まで、イラストを使ってわかりやすく紹介しています（全ページカラー）。多数の著書があり、野菜づくりのトップエキスパートである園芸研究家・小林五郎氏の書き下ろし。野菜づくりを始める人はもちろん、経験がある人にも、きっと新しい発見がある一冊です。



4. 農業体験農園主がそっと教える 菜園コツのコツ (16-18、734 円)

野菜作りで「手抜き」、「自己流」は失敗のもと。きちんとした手順を踏んで確実に作業することが失敗しない野菜づくりの極意です。農業体験農園を運営する著者の指導経験に基づき、初めて野菜づくりに取り組んだ人でも、野菜づくりに失敗せず、おいしい野菜を栽培するポイントと基礎知識、栽培の手順、作業の要諦を紹介しています。



5. 何でも聞いちゃえ アグリの話 ～農業施策・用語Q&A～ (31-33、800 円)

全国農業新聞で連載している「何でも聞いちゃえ アグリの話」を1冊の本にまとめました。

認定農業者／HACCP／TPP11／農地利用の最適化／収入保険／軽減税率など、農業にまつわる用語を、Q&Aの会話形式で、やさしく分かりやすく解説しています。



6. 令和版 よくわかる農政用語集 ～農に関するキーワード1000～ (31-31、2,000 円)

農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約1,000語集めてわかりやすく解説した用語集です。

農業の法律や制度・施策をはじめ、農業関係機関・団体、経営や生産技術、食料流通、販売、消費、環境問題などの各分野からおおむね1,000語選び、できるだけわかりやすく簡潔に解説・説明を加えています。



全国農業図書がお勧めする図書等

令和元年 11 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10%税込・送料別)

平成 31 年度 経営所得安定対策と米政策 (30-28、107 円)

※令和 2 年度版は令和 2 年 1 月中旬刊行予定 (10%税込 110 円)

平成 30 年産米から「新たな米政策」が始まり、農業者(産地)の主体的な判断による、需要に応じた生産・販売が行われています。

その初年の 30 年産の作付面積は、主食用米が増え、備蓄米と飼料用米が減少したこと等から、31 年産については、「人口減を反映した厳しい需給見通し」や「備蓄米買入の運用改善」をはじめ、TPP11 発効を考慮した「麦・てん菜のゲタ対策交付金の単価改定」が実施されます。

農業経営の安定を図るには、経営所得安定対策のゲタ・ナラシ対策、水田フル活用対策、収入保険制度などの仕組みとメリットを周知し、加入推進することが重要です。本パンフレットは、これら制度についての普及啓発資料として幅広く活用できます。



令和元年度版 農家相談の手引 (31-20、850 円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。

第 1 章、第 2 章では全国農業図書の農業者向けリーフレット等からエッセンスを凝縮、最新の情報をまとめました。人・農地プランの実質化、農地中間管理事業や農業者年金制度、収入保険制度等、幅広く情報を掲載しています。

第 3 章では、農水省の主な支援施策を抜粋しました。「〇〇がしたい」といったニーズ別に紹介しています。



【DVD】人・農地プランの話し合いで進める農地利用の最適化
—千葉県香取市の活動に学ぶ— (29-33、2,200 円)

千葉県香取市では、農業委員会が農政課など関係機関・団体と連携しつつ、集落段階での人・農地プランの話し合いを推進し、集落営農の組織化・法人化に取り組むとともに、農地中間管理事業を積極的に活用した農地利用の集積・集約化を実現しています。

本DVDは、同市におけるアンケート調査の実施、集落での話し合いなど、委員や事務局など関係者の取り組みと生の声を伝えるものであり、活動の参考としていただける内容となっています。



農地中間管理事業が新しくなりました

～人・農地プランの実質化や支援施策の解説～ (31-15、120 円)

新しくなった農地中間管理事業を分かりやすく説明したパンフレットです。農地の集積・集約化を今まで以上に進めるため、さまざまな点が見直されています。研修会や説明会の場はもとより、地域の皆さん、そして人・農地プランの話し合いや農地中間管理事業の推進に取り組む関係者の皆さんに広くお読みいただきたいパンフレット。



農地中間管理事業を活用しましょう (29-29、20 円)

農地中間管理事業の活用と人・農地プランの話し合いを呼びかける 2 頁の簡潔なリーフレットです。DVD (コード 29-33) の「パート 3」は本リーフレットを用いた説明動画となっており、併せてご活用頂けます。



地域農業の将来を考えてみませんか！

～進めよう！人・農地プランの実質化～ (31-05、100 円)

「人・農地プランとは何か」から、地域の関係機関が一体となって取り組むべき「意向把握」や「話し合い活動」などの『人・農地プラン実質化』のための流れを 5 つのステップに分けてわかりやすく説明しています。地域の研修会や説明会の際はもとより、地域の関係する皆さんに、広くお読みいただきたいリーフレットです。



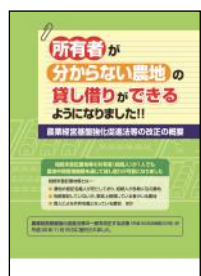
農業用ハウスの底面を全面コンクリート張りした場合の 取り扱いが見直されました (30-30、75 円)

農業用ハウスなど、コンクリート等で地固めをして耕作をできない土地は農地に該当せず、農地転用の許可が必要でしたが、その取り扱いが見直され、あらかじめ農業委員会に届け出れば、転用許可が不要となる仕組みが設けられました。届出の様式例も掲載して、理解しやすいように整理したリーフレットです。



所有者が分からない農地の貸し借りができるようになりました!! (30-26、75 円)

相続未登記など所有者の一部や全部が分からない農地を、簡易な手続きで、農地中間管理機構を通じて貸し付けることができる仕組みが新設されました。「基盤法」に基づく、その仕組みの概要と手続き、農業委員会による所有者の探索方法と同意取得の対応をコンパクトに分かりやすく解説しました。また、所有者が誰も分からない場合など、『農地法』に基づく貸し借りの簡素化された手続きについても掲載しています。



今こそ農業委員会に女性の力を！ (31-16、75 円)

農農業委員会への女性の参画を促すリーフレットです。農委制度の改正後も、農業委員会活動への女性参画をさらに進める必要があります。女性委員の登用と社会参画に力を入れる宮城県大崎市や女性農業者の相談を女性委員が親身になって受ける愛知県豊橋市、広島県の 2 市 1 町合同で行われる勉強会等を紹介。現職の農業委員・農地利用最適化推進委員はもちろん、地域での話し合いや女性委員候補者への働きかけなどに幅広くご活用ください。



2018 年度版 地域農業の担い手 「認定農業者」 (30-17、75 円)

※2019 年版は 11 月刊行予定

認定農業者制度の概要やメリットを伝え、認定農業者になることを勧める農業者向けリーフレットです。認定農業者になるための要件や、なった場合の主な支援措置、「全国優良経営体表彰」の優れた経営事例等を紹介しています。地域農業の担い手の確保・育成のために、また、農業経営者向けの研修会資料等としても活用いただけます。



農地転用許可制度マニュアル 改訂2版 (28-22、540 円)

農地転用許可制度について簡潔に示したマニュアルです。農地転用申請者への説明などにご活用下さい。

第5次地方分権一括法による農地転用の権限移譲、指定市町村制度の創設など、平成28年4月に施行された農地制度改正を反映しています。詳細な説明は『農地転用許可制度の手引(改訂6版)』(コード番号28-21)を併せてご覧下さい。



農家のための 新 農地全書 第7版 (28-30、2,343 円)

農地にまつわる相談は、売買、貸借や転用、相続・贈与など多岐にわたります。こうした相談に対応するには、農地法や中間管理事業法、基盤法、農振法だけでなく、民法、都市計画法、国土法など様々な制度に関する知識が必要です。民法では、抵当権と登記、相隣関係、法定相続分と寄与分・遺留分についても知っておくと良いでしょう。本「農地全書」は、これら農地に関する様々な相談を問答形式で分かりやすくまとめた一冊であり、昭和47年以来のロングセラーです。第7版では、平成27年の農地制度改正を踏まえた改訂を行っています。



改訂4版 新・農地の法律早わかり! (28-24、846 円)

農地法等改正に対応。農業生産法人から農地所有適格法人への名称変更と要件緩和、第5次地方分権一括法による4ha超の農地転用の権限移譲や指定市町村制度の創設など、農地制度改正の内容を反映し、農地面積や権利移動件数なども最新データに更新しました。



農地転用許可制度の手引 改訂6版 (28-21、988 円)

農地転用許可制度の仕組み、許可の基準や手続など制度全体をわかりやすく解説した手引書です。巻末に、関係する通知、農地法・政令・省令の3段表(転用関連部分)を掲載しています。第5次地方分権一括法による4ha超の農地転用の国から都道府県への権限移譲や指定市町村制度の創設など、改正点を反映しています。農業委員や農地利用最適化推進委員、農業委員会職員など、農地の転用に関わる多くの方々に活用いただけます。



新・農地の法律がよくわかる百問百答(改訂2版)(28-32、2,343 円)

農業委員会事務局には日々、農家等から様々な相談が寄せられます。そんなとき、疑問点にQ&A形式で答える、この「百問百答」が力強い味方となってくれます。農業委員、農地利用最適化推進委員のほか、関係部局の皆さんにもお勧めです。本書は、農地法、基盤法、農地中間管理法、特定農地貸付法、市民農園整備促進法といった農地に関わる法律制度ごとに、わかりやすく解説しています。



改訂3版 新・よくわかる農地の法律手続き (28-29、2,138 円)

好評いただいた本書を平成27年の農地制度改正に対応するとともに、全体を再整理、改訂をいたしました。農地の法律手続きのうち頻度の高い農地の売買・貸借、農地以外への転用、市民農園の開設等について、「これだけは知っておきたい」ことを、手続きの流れ図、申請書の記載例、判例等を交えて解説しています。農業委員会事務局はもとより、農業委員、農業者の皆さんにも活用いただける一冊となっています。



Q & A 農業法人化マニュアル 第4版 (28-19、897 円)

法人化のメリット、法人の設立の仕方、法人化にともなう負担などの疑問に答え、法人化するかどうか、法人設立の方法などを一問一答形式でわかりやすく解説しています。また、家族経営や数戸法人化、集落営農を法人化する際の留意点をはじめ、法人化の相談窓口における指導マニュアルとしても活用できる一冊です。

農業経営を法人化しませんか？ (30-36、75 円)

家族経営の法人化や集落営農の法人化の意義に始まり、会社法と農事組合法人の違いを比較表で明らかにしました。農地所有適格法人の4つの要件を解説しつつ、解除条件付き貸借による一般法人の農業参入の要件も簡潔に示しています。法人設立の手順も図示。信用力の向上や人材確保、販路拡大、税制特例など法人化のメリットと義務負担についても解説しています。農地所有適格法人制度と農業経営の法人化の概要を1枚で説明できるリーフです。

企業の農業参入の手引 (26-41、713 円)

農地の有効利用を進め、地域の担い手を確保するためには、地域の実情に応じて企業等の新たな担い手を農業のパートナーとして積極的に迎え入れ、経営体として支援する取り組みが重要です。この手引は、農業参入に関心を持つ企業等の皆さんに、農業に関する基礎的知識と、農業参入の流れや方針、事業計画作成のポイント、参入後の留意点等について分かりやすく解説しています。農業参入に関心を寄せる相談者を適切に導き、担い手として育成するため、農業委員会の委員や職員だけでなく、農業関係機関団体の皆さんに広く活用いただきたい1冊です。

改訂二版 農業経営基盤強化促進法一問一答集 (28-53、2,343 円)

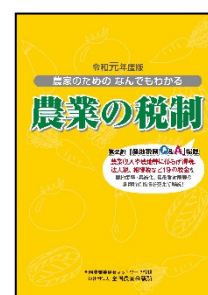
「農業経営基盤強化促進法一問一答集」に認定新規就農者制度など最新制度の内容を盛り込んだ改訂二版。農業経営基盤強化促進法を現場で運用する上で疑問にぶつかった時の手引きとなるよう一問一答形式で分かりやすく解説しています。

改訂6版 農業経営基盤強化促進法の解説 (28-52、3,666 円)

認定農業者等担い手の育成と農地集積等の支援を目的とする基盤法について、条文ごとの詳しい解説と改正経過を掲載。平成27年の「農業協同組合法等の一部を改正する等の法律」による農地法改正を受けて、農業生産法人から農地所有適格法人への名称変更と要件緩和を盛り込んだほか、農業委員会等に関する法律の改正等を踏まえて加筆修正しました。平成28年12月の省令改正にも対応しています。

令和元年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制 (31-19、1,140 円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q & A」では、照会の多い質問に丁寧に答えています。



全国農業図書がお勧めする「企業参入向け図書」

令和元年 1 1 月
(一社) 全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10% 税込・送料別)

1. 企業の農業参入の手引 (26-41、713 円)

農地の有効利用と担い手確保に向けて、地域の実情に応じて企業等を新たな農業のパートナーとして積極的に受け入れることが重要となっています。参入に関心を持つ企業等の皆さんに農業参入に必要な基礎的知識や参入の流れ、事業計画作成のポイント、参入後の留意点等についてわかりやすく解説しています。農業委員会の委員、職員、農業関係機関・団体の窓口担当者の相談の手引としてもご活用下さい。



2. Q&A 農業法人化マニュアル 第4版 (28-19、897 円)

法人化のメリット、法人の設立の仕方、法人化にともなう負担などの疑問に答え、法人化するかどうか、法人設立の方法などを一問一答形式でわかりやすく解説しています。



3. 改訂3版 農業法人の設立 (30-11、1,884 円)

農業法人の設立と運営に役立つ実務書。平成 30 年時点の税制や社会保険制度などを反映した、最新版です。法人設立の様式も付録しています。指導者はもちろん、農業経営の法人化を目指す農業者や農業法人の経営者など関係者の必携書です。農業法人の仕組みを知りたい方々の入門書としてもご活用ください。



4. 新規就農 実現への道。～ナビゲーションブック～ (23-02、1,887 円)

就業フローチャートに沿って、就農までの道のりを具体例で示しながらわかりやすく解説します。特に「方向性の選択」では、作目別に新規就農者が直面する問題と解決方法を提示し、「法人就職」では法人就職マニュアルを掲載するなど、新規就農へのノウハウを紹介します。就農した先輩のインタビューも掲載した、農業を仕事にしたい人に贈る一冊です。



5. 改訂4版 農業の労務管理と労働・社会保険百問百答

(29-25、1,528 円)

就労管理に関する諸制度について、農業の特性に留意しつつ、農林漁業分野で活躍する社会保険労務士が Q & A 形式で解説したものです。農業法人をはじめとして雇用者のいる経営者の方々に、労務管理と労働・社会保険の手引書として活用いただきたい一冊です。



6. 簿記

①改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記

ソリマチ（株）「農業簿記 11」体験版 CD-ROM 付（31-36、3,000 円）

ソリマチ（株）の農業簿記ソフト「農業簿記 11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。



②2019 年版 青色申告から経営改善につなぐ

勘定科目別農業簿記マニュアル（31-37、2,160 円）

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理しており、「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書として、研修会のテキストとして適しています。また、最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。2019 年 10 月から導入された消費税の軽減税率の取扱いについても記載。執筆者は税理士の森剛一氏。



③「わかる」から「できる」へ 複式農業簿記実践テキスト

（29-11、1,681 円）

簿記の学習のヤマ場といわれる「仕訳」については、多くの仕訳例を掲載。実際の簿記相談に裏打ちされた仕訳例は読者の手元で即戦力となります。記帳のイロハから実務まで網羅した手引書として、初心者や実務経験者の心強い見方になる一冊です。



④記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳（27-23、418 円）

都道府県農業会議の簿記指導のノウハウを集積し、複式農業簿記実践テキストの姉妹書として作成。問題と回答を本冊に収録し、記述できる回答は別冊とし、切り離して利用できるようになっています。テキストの参照ページも掲載し、テキストとセットでの活用をお勧めします。



7. 税務

1) 書籍

①令和元年度版 よくわかる農家の青色申告（31-21、830 円）

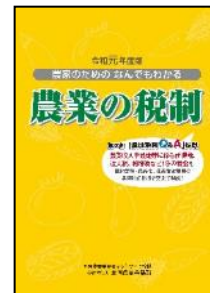
青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の「入門書」です。令和元年度版は、消費税 10%への引き上げと軽減税率や最新の記入例を掲載。あわせて「農業者（個人）の令和元年度所得税の改正のあらまし」も載せています。



②令和元年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制

(31-19、1,140 円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問にていねいに答えています。



③改訂2版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか (31-23、90 円、8 頁)

相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説、相続時精算課税制度も収録しています。31年の税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版の農業者向けリーフです。



8. 日本農業技術検定過去問題集

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができるとして、学生から社会人まで幅広く活用されています。検定の概要や、申し込み方法、勉強の仕方などもお伝えします。

①2019年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級 (31-01、1,100 円)

2018・2017・2016年度に行われた試験問題6回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



②2019年版 日本農業技術検定 過去問題集 2級 (31-02、1,100 円)

2018年度に行われた試験問題2回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



9. 病虫害・雑草フィールドブック

主要な病虫害・雑草をカラー写真とともに簡便に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

①水稻編 (17-04、1,048 円)

病害 16 種、害虫 23 種、雑草 39 種を収録。

②野菜編 (17-05、1,048 円)

病害 94 種、害虫 33 種、雑草 26 種を収録。

③柑橘編 (17-57、1,048 円)

病害 19 種、害虫 31 種、雑草 28 種を収録。

④果樹編 (18-01、1,048 円)

病害 43 種、害虫 33 種、雑草 22 種を収録。



10. 令和版 よくわかる農政用語集 ～農に関するキーワード1000～
(31-31、2,000 円)

農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約1,000語集めてわかりやすく解説した用語集です。



11. 《全国農業図書ブックレット14》

いまこそ、農地をいかして めざそう地域の活性化 (30-25、739 円)

本書は、平成20年度から10回に渡り実施された「耕作放棄地発生防止・解消活動表彰事業」の受賞組織の活動を整理・分析し、模範となる優良事例から学ぶべき遊休農地対策のポイントをまとめました。耕作放棄地の現状、遊休農地対策の枠組みなど基本的な事項もわかりやすく解説しています。



12. 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20、837 円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



13. 多視点型農業マーケティング -6次産業化へのヒント77-

平岡 豊 著 (26-30、950 円)

農業マーケティングの先駆者である平岡豊氏が「実践型農業マーケティング」の続編として著した最新刊です。

日本農業はこれまで「単視点的」発想での施策が多かったのではないかと問いかけ、新たな視点で現状を見直し、打開策を見出すよう意識改革を促します。全国農業新聞への連載「マーケティング・アイ」から選りすぐりのコラム77件を掲載。



14. 新世代の農業挑戦 -優良経営事例に学ぶ- 叶 芳和 著

(26-14、1,121 円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取り組みを紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



全国農業図書がお勧めする「新規就農者向け図書」

令和元年 11 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10%税込・送料別)

1. 新規就農 実現への道。～ナビゲーションブック～ (23-02、1,887 円)

就業フローチャートに沿って、就農までの道のりを具体例で示しながらわかりやすく解説します。「方向性の選択」では、作目別に新規就農者が直面する問題と解決方法を提示し、「法人就職」では法人就職マニュアルを掲載するなど、新規就農へのノウハウを紹介します。就農した先輩のインタビューも掲載した、農業を仕事にしたい人に贈る一冊です。



2. 日本農業技術検定過去問題集

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができるとして、学生から社会人まで幅広く活用されています。日本農業技術検定協会事務局による検定の概要や、申し込み方法、勉強の仕方などもお伝えします。

①2019 年版 日本農業技術検定 過去問題集 3 級 (31-01、1,100 円)

2018・2017・2016 年度に行われた試験問題 6 回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



②2019 年版 日本農業技術検定 過去問題集 2 級 (31-02、1,100 円)

2018 年度に行われた試験問題 2 回分と、現役教師による適切かつ丁寧な解説を掲載しています。



3. だれでも楽しめる！簡単野菜づくり (25-29、1,257 円)

野菜づくりの基本とも言える土づくり、肥料の施用方法のイロハから、野菜ごとの栽培方法まで、イラストを使ってわかりやすく紹介しています(全ページカラー)。多数の著書があり、野菜づくりのトップエキスパートである園芸研究家・小林五郎氏の書き下ろし。野菜づくりを始める人はもちろん、経験がある人にも、きっと新しい発見がある一冊です。



4. 農業体験農園主がそっと教える 菜園コツのコツ (16-18、734 円)

野菜づくりで「手抜き」、「自己流」は失敗のもと。きちんとした手順を踏んで確実に作業することが失敗しない野菜づくりの極意です。

農業体験農園を運営する著者の指導経験に基づき、初めて野菜づくりに取り組んだ人でも、野菜づくりに失敗せず、おいしい野菜を栽培するポイントと基礎知識、栽培の手順を紹介しています。



5. 病害虫・雑草フィールドブック

主要な病害虫・雑草をカラー写真とともに簡便に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

① 水稻編 (17-04、1,048 円)

病害 16 種、害虫 23 種、雑草 39 種を収録。

② 野菜編 (17-05、1,048 円)

病害 94 種、害虫 33 種、雑草 26 種を収録。

③ 柑橘編 (17-57、1,048 円)

病害 19 種、害虫 31 種、雑草 28 種を収録。

④ 果樹編 (18-01、1,048 円)

病害 43 種、害虫 33 種、雑草 22 種を収録。



6. 新・よくわかる農政用語 (24-23、2,057 円)

農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約 1,000 語集めてわかりやすく解説した用語集です。

農業の法律や制度・施策をはじめ、農業関係機関・団体、経営や生産技術、食料流通、販売、消費、環境問題などの各分野からおおむね 1,000 語選び、できるだけわかりやすく簡潔に解説・説明を加えています。



7. 何でも聞いちゃえ アグリの話 ～農業施策・用語 Q&A～ (31-33、800 円)

全国農業新聞で連載している「何でも聞いちゃえ アグリの話」を 1 冊の本にまとめました。

認定農業者／HACCP／TPP11／農地利用の最適化／収入保険／軽減税率など、農業にまつわる用語を、Q&A の会話形式で、やさしく分かりやすく解説しています。



8. 令和元年度版 よくわかる農家の青色申告 (31-21、830 円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の「入門書」です。令和元年度版は、消費税 10% への引き上げと軽減税率や最新の記入例を掲載。あわせて「農業者（個人）の令和元年度所得税の改正のあらまし」も載せています。



9. 改訂 8 版 はじめてのパソコン農業簿記

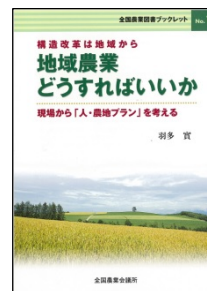
ソリマチ (株)「農業簿記 11」体験版 CD-ROM 付 (31-36、3,000 円)

ソリマチ (株) の農業簿記ソフト「農業簿記 11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。



10. 構造改革は地域から 地域農業どうすればいいか (23-37、366 円)

人・農地プラン作成に向けた「集落での話し合い」にあたって、その進め方や留意点を具体的に示しています。平成 16 年度に発行し好評を得た本書を、人・農地プランに対応した内容にリニューアルしました。プラン作成のノウハウと共に、実際に話し合いをした結果、成功した集落をモデルケースとして紹介しています。



11. 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20、837 円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第 1 章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な事例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



12. 多視点型農業マーケティング -6 次産業化へのヒント 77-

平岡 豊 著 (26-30、950 円)

農業マーケティングの先駆者である平岡豊氏が「実践型農業マーケティング」の続編として著した最新刊です。

日本農業はこれまで「単視点的」発想での施策が多かったのではないかと問いかけ、新たな視点で現状を見直し、打開策を見い出すよう意識改革を促します。全国農業新聞への連載「マーケティング・アイ」から選りすぐりのコラム 77 件を掲載。



13. 新世代の農業挑戦 -優良経営事例に学ぶ- 叶 芳和 著

(26-14、1,121 円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取り組みを紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



全国農業図書がお勧めする「農業高校生向け図書」

令和元年 11 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて 10%税込・送料別)

1. 新規就農

1) 新規就農 実現への道。～ナビゲーションブック～ (23-02、1,887 円)

就業フローチャートに沿って、就農までの道のりを具体例で示しながらわかりやすく解説します。特に「方向性の選択」では、作目別に新規就農者が直面する問題と解決方法を提示し、「法人就職」では法人就職マニュアルを掲載するなど、就農へのノウハウを紹介します。就農した先輩のインタビューも掲載した、農業を仕事にしたい人に贈る一冊です。



2) 農業を仕事に！新規就農事例集 (23-26、366 円)

新規就農し、「農村の生活が好き」という生き方とビジネスとしての農業を両立させた精鋭・11 人を紹介!! (8 事例)。農業を仕事にしたいと考えている方は必読の一冊です。



2. 簿記・青色申告、税制

1) 令和元年度版 よくわかる農家の青色申告 (31-21、830 円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の「入門書」です。令和元年度版は、消費税 10%への引き上げと軽減税率や最新の記入例を掲載。あわせて「農業者（個人）の令和元年度所得税の改正のあらまし」も載せています。



2) 「わかる」から「できる」へ 複式農業簿記実践テキスト

(29-11、1,681 円)

簿記の学習のヤマ場といわれる「仕訳」については、多くの仕訳例を掲載。実際の簿記相談に裏打ちされた仕訳例は読者の手元で即戦力となります。記帳のイロハから実務まで網羅した手引書として、初心者や実務経験者の心強い見方になる一冊です。



3) 改訂 8 版 はじめてのパソコン農業簿記

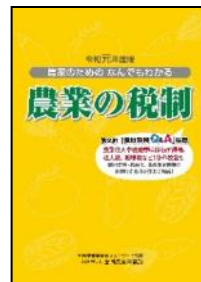
ソリマチ (株)「農業簿記 11」体験版 CD-ROM 付 (31-36、3,000 円)

ソリマチ (株) の農業簿記ソフト「農業簿記 11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。



4) 令和元年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制 (31-19、1,140 円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問に丁寧に答えています。



3. マーケティング、経営戦略

1) 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20、837 円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な事例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



2) 多視点型農業マーケティング -6次産業化へのヒント 77-

平岡 豊 著 (26-30、950 円)

農業マーケティングの先駆者である平岡豊氏が「実践型農業マーケティング」の続編として著した最新刊です。

日本農業はこれまで「単視点的」発想での施策が多かったのではないかと問いかけ、新たな視点で現状を見直し、打開策を見い出さう意識改革を促します。全国農業新聞への連載「マーケティング・アイ」から選りすぐりのコラム 77 件を掲載。



3) 新世代の農業挑戦 -優良経営事例に学ぶ- 叶 芳和 著

(26-14、1,121 円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取り組みを紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



4. 農業経営改善 (認定農業者、法人化)

1) 2018 年度版 地域農業の担い手 「認定農業者」 (30-18、75 円)

※2019 年版は 11 月刊行予定

認定農業者制度の概要やメリットを伝え、認定農業者になることを勧めるリーフレットです。認定農業者になるための要件や、なった場合の主な支援措置、「全国優良経営体表彰」の優れた経営事例等を紹介しています。



2) 農業経営を法人化しませんか？ (30-36、75 円)

家族経営の法人化や集落営農の法人化の意義に始まり、会社法人と農事組合法人の違いを比較表で明らかにしました。農地所有適格法人の4つの要件を解説しつつ、解除条件付き貸借による一般法人の農業参入の要件も簡潔に示しています。法人設立の手順も図示。信用力の向上や人材確保、販路拡大、税制特例など法人化のメリットと義務負担についても解説しています。農地所有適格法人制度と農業経営の法人化の概要を1枚で説明できるリーフです。



5. 農地制度、農業委員会制度

1) 農業委員会はこんな活動をしています

～がんばっています！農業委員・推進委員～ (31-24、45 円)

「地域農業の振興」や「農地法等の農地行政の執行」、「農業の担い手支援」等に取り組んでいる農業委員会／農業委員・農地利用最適化推進委員の基本的な役割や主な活動について、イラスト入りでわかりやすく示したリーフレットです。



2) 農業委員会研修テキスト①農業委員会制度 (30-21、366 円)

新たな農業委員会制度の概要と農業委員・農地利用最適化推進委員・農業委員会の業務についてわかりやすく説明したテキストです。



3) 農業委員研修テキスト②農地法 (30-19、479 円)

農地制度の概要、農地法にもとづく農業委員会・農業委員等の業務についてわかりやすく説明したテキストです。平成30年「農業経営基盤強化促進法等の一部改正」等を反映した最新版です。



4) 改訂4版 新・農地の法律早わかり！ (28-24、846 円)

農地法等改正に対応。農業生産法人から農地所有適格法人への名称変更と要件緩和、第5次地方分権一括法による4ha超の農地転用の権限移譲や指定市町村制度の創設など、農地制度改正の内容を反映し、農地面積や権利移動件数なども最新データに更新しました。



6. 支援施策等

1) 令和元年度版 農家相談の手引 (31-20、850 円)

農業委員、農地利用最適化推進委員、地域農業のリーダーが農家から相談を受ける際、制度や施策を説明するための資料集として、あるいは農業に関するさまざまな制度を学ぶ手引書として活用できます。

第1章、第2章では全国農業図書の農業者向けリーフレット等からエッセンスを凝縮、最新の情報をまとめました。人・農地プランの実質化、農地中間管理事業や農業者年金制度、収入保険制度等、幅広く情報を掲載しています。

第3章では、農水省の主な支援施策を抜粋しました。「〇〇がしたい」といったニーズ別に紹介しています。



2) 2019 年度版 農業者年金 加入推進用リーフレット (31-06、45 円、4 頁)

農業者年金の加入推進用リーフレットです。少子高齢時代に強い年金であり、保険料額は自由に決められること、終身年金で 80 歳までの保証付き、公的年金ならではの税制の優遇措置、担い手への保険料補助などメリットを説明。年金額の試算表も付いています。



3) 人生 100 年時代 農業者年金で安心の備えを！10 話 (30-22、160 円、12 頁)

農業者年金の良さをファイナンシャル・プランナーの立場から、10 話にわけてやさしく解説しました。農業者が読んで「なるほど納得！」という、気軽に読める 12 ページの小冊子です。

家族の皆さんに読んでもらえると、「加入しよう！」という気にさせること間違いなしです。



4) 平成 31 年度 経営所得安定対策と米政策 (30-28、107 円)

※令和 2 年度版は令和 2 年 1 月中旬刊行予定 (10%税込 110 円)

平成 30 年産米から「新たな米政策」が始まり、農業者(産地)の主体的な判断による、需要に応じた生産・販売が行われています。その初年の 30 年産の作付面積は、主食用米が増え、備蓄米と飼料用米が減少したこと等から、31 年産については、「人口減を反映した厳しい需給見通し」や「備蓄米買入の運用改善」をはじめ、T P P 11 発効を考慮した「麦・てん菜のゲタ対策交付金の単価改定」が実施されます。農業経営の安定を図るには、経営所得安定対策のゲタ・ナラシ対策、水田フル活用対策、収入保険制度などの仕組みとメリットを周知し、加入推進することが重要です。本パンフレットは、これら制度についての普及啓発資料として幅広く活用できます。



7. 農政全般

1) ニッポンの食と農 この10年～命の糧を未来につなぐ～

見城 美枝子 著 (27-19、1,528 円)

著者の農業応援のきっかけは40年前、海外取材で体調を崩し、おかゆで復帰して以来、和食生活になったこと。そして、「日本農業の応援」には「国産の農産物を買うこと」と農業者から言われたこと。それ以来、「国産しか買わない」「国産で子供を育てる」を貫いています。「食料依存でさらなる敗戦国としての従属を強いられないよう、食と農のこの10年をひとつの『時のくくり』として読んでいただき、そこから次の10年、未来につなげる日本の食と農のあり方を考えて」（はじめにより）と呼びかけています。



2) 令和版 よくわかる農政用語集 ～農に関するキーワード1000～ (31-31、2,000 円)

農政に関する用語を中心に、現代の農についてのキーワードを約1,000語集めてわかりやすく解説した用語集です。



3) 新・日本農業の実際知識 羽田 實/折原 直 改訂共著 (28-42、1,019 円)

初版から12年—新しいデータを更新追加して、“日本農業”の真の姿を解説しています。マスコミ等からの日本農業に対する多くの「誤解」、経済・農業界からの「疑問」に明快に回答して、将来の日本農業の可能性を示唆します。TPP問題にも言及しています。



8. 農業技術

1) 日本農業技術検定過去問題集

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができるとして、学生から社会人まで幅広く活用されています。日本農業技術検定協会事務局による検定の概要や、申し込み方法、勉強の仕方などもお伝えします。

①2019年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級 (31-01、1,100 円)

2016・2017・2018年度に行われた試験問題6回分と、現役教師による解説を掲載しています。

②2019年版 日本農業技術検定 過去問題集 2級 (31-02、1,100 円)

2018年度に行われた試験問題2回分と、現役教師による解説を掲載しています。

③2018年版 日本農業技術検定 過去問題集 3級 (30-01、1,100 円)

2015・2016・2017年度に行われた試験問題6回分と、現役教師による解説を掲載しています。



④2018 年版 日本農業技術検定 過去問題集 2 級 (30-02、1,100 円)

2017 年度に行われた試験問題 2 回分と、現役教師による解説を掲載しています。



⑤2017 年版 日本農業技術検定 過去問題集 3 級 (29-01、1,100 円)

2014・2015・2016 年度に行われた試験問題 6 回分と、現役教師による解説を掲載しています。

⑥2017 年版 日本農業技術検定 過去問題集 2 級 (29-02、1,100 円)

2016 年度に行われた試験問題 2 回分と、現役教師による解説を掲載しています。

2) 病害虫・雑草フィールドブック

主要な病害虫・雑草をカラー写真とともに簡便に説明した、現場に携帯できる小図鑑です。

①水稻編 (17-04、1,048 円)

病害 16 種、害虫 23 種、雑草 39 種を収録。

②野菜編 (17-05、1,048 円)

病害 94 種、害虫 33 種、雑草 26 種を収録。

③柑橘編 (17-57、1,048 円)

病害 19 種、害虫 31 種、雑草 28 種を収録。

④果樹編 (18-01、1,048 円)

病害 43 種、害虫 33 種、雑草 22 種を収録。



3) だれでも楽しめる！簡単野菜づくり (25-29、1,257 円)

園芸研究家・小林五郎氏の書き下ろし。野菜づくりの基本とも言える土づくり、肥料の施用方法のイロハから、野菜ごとの栽培方法まで、イラストを使ってわかりやすく紹介しています。野菜づくりを始める人はもちろん、経験がある人にも、きっと新しい発見がある一冊です。



4) 農業体験農園主がそっと教える 菜園コツのコツ (16-18、734 円)

野菜づくりで「手抜き」「自己流」は失敗のもと。きちんとした手順を踏んで確実に作業することが失敗しない野菜づくりの極意です。

農業体験農園を運営する著者の指導経験に基づき、初めて野菜づくりに取り組んだ人でも、野菜づくりに失敗せず、おいしい野菜を栽培するポイントと基礎知識、栽培の手順を紹介しています。



「農の雇用事業（教育研修費助成・指導者研修費助成）関係書籍」

令和元年 11 月
(一社)全国農業会議所出版部

農の雇用事業では、研修生の各種資格取得に向けた図書の購入費のほか、指導者や経営者が人材育成・労務管理等の向上に必要な図書の購入費も助成対象となっています。

指導者や経営者には、人材育成や労務管理だけでなく簿記・青色申告、税制、マーケティング等に関する図書にも目を通して資質向上に努め、指導にあたることを求められます。研修生は、OJT研修のほか、座学研修、自己研さんを通じて獲得した知識と技術を「日本農業技術検定」等の検定試験を通じて確認することが必須・推奨されており、過去問題集を活用した受検対策が有効です。

(価格はすべて10%税込・送料別)

I. 指導者研修費の助成対象となる図書（指導者・経営者向け）

1. 人材育成・労務管理関係

1) 改訂4版 農業の従業員採用・育成マニュアル (31-34、4,200 円)

「モデル就業規則」等 CD-ROM 付き

農業の従業員の採用や育成に関する実務的なマニュアル書、大好評シリーズの最新版です。正社員のほか、パートタイマー、研修生、外国人技能実習生、出向等など、雇用に関するあらゆる事項について網羅。働き方改革なども解説。労使間で結ぶ就業規則のモデルなど、各種様式等を収録した CD-R 付き。著者は、特定社会保険労務士の入院重宏氏。



2) 改訂4版 農業の労務管理と労働・社会保険百問百答 (29-25、1,528 円)

労務管理に関する諸制度について、農業の特性に留意しつつ、農林漁業分野で活躍する社会保険労務士がQ&A形式で解説したものです。農業法人をはじめとして雇用者のいる経営者の方々に、労務管理と労働・社会保険の手引書として活用いただきたい一冊です。



2. 簿記・青色申告、税制関係

(※ 研修実施計画の内容と関連している場合に限り助成対象となりますので、ご留意下さい)

1) 「わかる」から「できる」へ 複式農業簿記実践テキスト

(29-11、1,681 円)

簿記の学習のヤマ場といわれる「仕訳」について、多くの例を掲載。多くの簿記相談に裏打ちされた仕訳例は、農業者の記帳実務の即戦力となります。簿記記帳のイロハから実務まで網羅した手引書として、初心者、実務経験者の心強い味方になるものです。



2) 記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳 (27-23、418 円)

都道府県農業会議の簿記指導のノウハウを集約し、複式農業簿記実践テキストの姉妹書として作成しました。手を動かして演習をすることで、テキストによる学習の効果が格段に高まります。

問題と解答を本冊に収録し、記述できる解答用紙は別冊とし、切り離して利用できるようになっています。テキストの参照ページも掲載していますので、テキストとセットでの活用をお勧めします。



3) 改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記

ソリマチ (株)「農業簿記 11」体験版 CD-ROM 付 (31-36、3,000 円)

ソリマチ (株) の農業簿記ソフト「農業簿記 11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めたい人に最適の入門書です。



4) 令和元年度版 よくわかる農家の青色申告 (31-21、830 円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の「入門書」です。

令和元年度版は、消費税 10%への引き上げと軽減税率や最新の記入例を掲載。あわせて「農業者 (個人) の令和元年度所得税の改正のあらまし」も載せています。

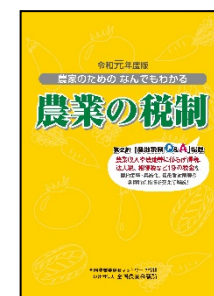


5) 令和元年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制

(31-19、1,140 円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。

第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問にていねいに答えています。



6) 2019 年版 青色申告から経営改善につなぐ

勘定科目別農業簿記マニュアル (31-37、2,160 円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理しており、「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書として、研修会のテキストとして適しています。また、最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。2019 年 10 月から導入された消費税の軽減税率の取扱いについても記載。執筆者は税理士の森剛一氏。



3. マーケティング

(※ 研修実施計画の内容と関連している場合に限り助成対象となりますので、ご留意下さい。)

1) 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著 (18-20、837 円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た事例を紹介し、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



2) 多視点型農業マーケティング -6次産業化へのヒント 77-

平岡 豊 著 (26-30、950 円)

農業マーケティングの先駆者である平岡豊氏が「実践型農業マーケティング」の続編として著した最新刊です。

日本農業はこれまで「単視点的」発想での施策が多かったのではないかと問いかけ、新たな視点で現状を見直し、打開策を見い出すよう意識改革を促します。全国農業新聞への連載「マーケティング・アイ」から選りすぐりのコラム 77 件を掲載。



II. 教育研修費の助成対象となる図書 (研修生向け)

日本農業技術検定関係

日本農業技術検定過去問題集

日本農業技術検定は、農業についての知識・技能の習熟度を測ることができる検定試験として、学生から社会人まで幅広く活用されており、農の雇用事業では研修期間中に研修生が日本農業技術検定を受験することが推奨されています。以下の過去問題集には、各年度に実際に出題された問題と現役教師や専門家による解説を掲載しています。検定試験の概要や、申し込み方法、勉強の仕方なども盛り込んでいます。

①2019 年版 日本農業技術検定 過去問題集 3 級

2016・2017・2018 年度出題分 (31-01、1,100 円)



②2019 年版 日本農業技術検定 過去問題集 2 級

2018 年度出題分 (31-02、1,100 円)

③2018 年版 日本農業技術検定 過去問題集 3 級

2015・2016・2017 年度出題分 (30-01、1,100 円)



④2018 年版 日本農業技術検定 過去問題集 2 級

2017 年度出題分 (30-02、1,100 円)

- ⑤2017 年版 日本農業技術検定 過去問題集 3 級
2014・2015・2016 年度出題分 (29-01、1,100 円)



- ⑥2017 年版 日本農業技術検定 過去問題集 2 級
2016 年度出題分 (29-02、1,100 円)

Ⅲ. 指導者養成研修会の研修テキストとして活用できる図書（農業会議向け） 「農業の雇用」シリーズ

本シリーズは農業法人等の経営者・指導者を対象とした研修向けの教材であり、従業員の採用から労務管理、保険加入、就業規則、給与計算、人事評価まで、テーマごとの分冊で分かりやすくまとめたものです。農業会議が実施する指導者養成研修会の研修テキストとしてご活用ください。

(①②③は平成30年度改訂、④は平成29年度に改訂しています。)

- ①「農業の雇用」シリーズ1 初めての従業員採用 (30-05、314 円)
- ②「農業の雇用」シリーズ2 初めての労務管理 (30-06、366 円)
- ③「農業の雇用」シリーズ3 初めての労働保険・社会保険 (31-38、419 円)
- ④「農業の雇用」シリーズ4 初めての就業規則 (29-36、837 円)
- ⑤「農業の雇用」シリーズ5 初めての給与計算 (25-17、575 円)
- ⑥「農業の雇用」シリーズ6 初めての人事評価制度 (25-18、314 円)

